

第1回三重県プロモーション推進会議 概要

- 1 開催日：令和5年7月13日（木）13時15分～13時30分
- 2 開催場所：プレゼンテーションルーム
- 3 議事概要：以下のとおり（●議題提出部局説明・回答、☆意見・質問）

●後田政策企画部長

「第1回三重県プロモーション推進会議」を開催する。「三重県プロモーション推進本部」は豊かな地域資源を活用し、三重の魅力を強力に発信するとともに、全庁をあげて戦略的なプロモーションに取り組むことを目的として、令和5年4月1日に設置した。本日は1回目ということで、全庁で取り組む戦略的なプロモーションの推進に向けて、「三重県プロモーション推進方針」（仮称）の位置づけや骨子案についてご確認いただく。

それでは、事務局から説明をさせていただきます。

※資料について、事務局（岡田プロモーション推進監）から説明

☆増田観光部長

事務局より提示された資料の内容について、賛同するとともに、3点コメントしたい。まず、三重県そのもののブランド化や、認知度が向上することで、観光誘客においても相乗効果があるので期待している。

2点目は、ターゲット設定や効果検証について、現在、観光部では試行錯誤しながら実施している。しかし、必要なデータ収集には課題があると認識しているので、この点についての検討もあわせて行っていただきたい。

3点目は、プロモーションを進めるにおいてはコンテンツをつくるだけでなく、相手に届けてそれを検証することが非常に重要である。その資源（予算等）の配分のバランスが3：6：1にすることは、マーケティングの常識になっている。通称サーロインの法則と言われており、現在観光部ではそれに倣って取り組んでいるところである。

プロモーション推進方針策定においても、この考え方を考慮し、県全体のプロモーションを実効性あるものにしていただきたい。観光は、非常に重要なポジションにあるので、ぜひ一緒に取り組んでいきたい。

●岡田プロモーション推進監

いただいた意見も踏まえて、今後検討を深めていきたい。

●後田政策企画部長

他に意見がなければ、この方向で進めていきたい。

（一見知事）

各部に協力いただき、政策企画部でプロモーションの方針を取りまとめてもらった。これで終わりではなく、スタートラインに立ったということなので、頑張ってやっていくことをお願いしたい。

まず、三重県は、遠慮がちの人が多く、三重県の良さを外に発信していくことが苦手だと思っているかもしれないが、安心していただきたい。先日の中部圏知事会議でその話をしたら、他県の方もそうだと話をされていた。

プロモーションは、意識を持ってやっていけば良いということ。三重県の人々の性格がどうだから関係なく、どんどん宣伝していただきたい。

その上で今回、プロモーションを全庁的に担ってもらう組織を作った。そこで、統一的な宣伝、プロモーションをやっていくということが重要。様々な方から話も伺ったが、各部の

間に落ち込むようなポテンヒットみたいなものがわりと多いという話を聞いている。それを全体的な受け皿として拾うセーフティーネットのような組織ができたというふうに考えていただきたい。また、各部に対してこういうことをやったらどうかという情報発信をしていくところでもある。

その上で3つ話をしたい。1点目は、先ほど増田部長からも話があったが、プロモーションするときには、ターゲットごとにどういうプロモーションをするのか決めなければいけない。重点ターゲットはまず何かというのも決めないといけない。

例えば、産業界にとっての三重県は、非常に地理的な優位性もあって、そして労働力もあり、土地もあるということで、放っておいても大事なところという感じになると思うが、観光客にとってはどうなのかというところがある。ターゲットごとにどういう対応をするのかということが重要。

2点目は、全庁統一的にやる組織はできたが、本当に全庁統一的にプロモーションをやるのか、やれるのかということを考えていただきたい。観光部はプロモーションを今までよくやってきているので、さまざまな勉強もしている。それを参考に各部に横展開をしてもらいたい。これは、プロモーション部局の仕事でお願いしたい。

3点目は、プロモーションにはデジタルが欠かせない。SNSもそうである。そういう意味でデジタル局にも協力してもらい、どんなやり方ができるかということを考えていただきたい。

プロモーションに成功しているフランスは、ブランディングが上手。批判もあるが、ブランディングというのは重要。そういったものもワーディングとして頭の中に置きながら検討していただきたい。